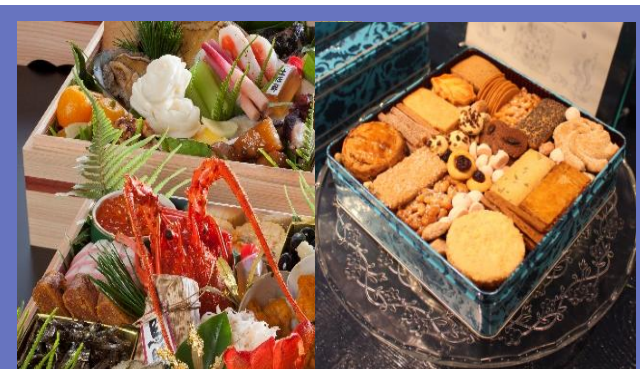


株式会社 銀の森コーポレーション



銀の森コーポレーション主力商品
左：おせち / 右：Le Petit bois

- 本社所在地：岐阜県恵那市大井町2711番地2
- 事業概要：食品製造業,施設運営
- 常時使用する従業員：296名
(2025年5月時点)
- 現在の売上高：47.2億円
(2025年4月期)
- 法人番号：4200001023694
- Web：https://ginnomori.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



肩書 代表取締役
氏名 渡邊 好作

「人らしく生きる」をすべての人に

銀の森コーポレーションでは、「人らしく生きる」をすべての人に、という企業ミッションを掲げています。人らしく生きるとは「心と体が豊か」で「美しくある」ことです。豊かさとは五感が満ち足りていて、心や体が健全であることにつながっています。私たちは心と体、その両方が満たされる豊かな暮らしを提案します。従業員もお客様もすべての人が、イキイキと笑顔があふれる未来を創ります。

売上高100億円実現の目標と課題



課題

- 店舗拡大に伴う人員不足
- 出店スピードと品質維持の両立
- 製造能力拡張と原材料価格変動
- バニラ事業の収益化
- 組織体制・幹部人材育成

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- おせち高付加価値戦略推進、年率5%の安定成長
- 年間3~4出店継続、パティスリ-40店舗体制の確立
- 海外市場段階的拡大
- 観光価値向上施策の推進
- バニラブランド活用、2030年収益化
- EC強化とデジタル販売拡大
- 商品単価向上戦略、粗利率の向上
- IP活用によるブランド深化

実施体制

- 管理会社と事業会社の分離（ホールディング体制移行）
- 管理部門の専門性強化
- マーケティング部門強化
- 開発部門の機能拡張（アイデア具現化体制）
- 海外専門チーム設置
- 次世代幹部育成制度確立
- 全社横断プロジェクト体制構築

売上高100億円実現の目標と課題

ブランドIPを軸とした三位一体成長モデル

おいしいを「つなぐ」 未来事業の森事業

銀の森の世界観を現実化する「森づくり」を軸に、自然との共存と循環型の事業モデルを構築する事業
バナナ栽培・加工など収益化の取り組みを通じて、商品・体験・ブランドストーリーを統合したIP活用を推進。

おいしいを「つくる」 中核事業のおせち事業

全国の顧客を対象とした主力収益事業として、安定的な収益基盤を担う。
OEMのさらなる強化、高付加価値戦略を推進。
持続的な成長モデルを構築し、年率5%の安定成長を目指す。

おいしいを「とどける」 成長事業の銀の森事業

“世界観”を体験として提供する小売・体験事業
ブランド発信の中核拠点として、年間3~4店舗の全国出店を推進。
IPを活用した世界観の一貫展開により体験価値を高め、顧客創造とブランド深化を図る。